

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和6年4月17日(水)		
テーマ	唱歌と童謡		
講 師	大阪芸術大学教授 吉良武志		
講義内容			
<p>わが国の唱歌や童謡はどのように誕生したのでしょうか。</p> <p>明治期、学校教育の中に教科「唱歌」として音楽を取り入れた経緯を概観することから始め、「言文一致唱歌」「童謡運動」、戦後の「新しい子どもの歌」と辿っていきます。</p> <p>歴史を学習するだけでなく、その時代に歌われた歌をみんなで歌いながら、音楽文化の流れを感じ取っていただきたいと考えます</p> <p>後半には、小学校の音楽教科書の中から、講義時期に合わせた教材を扱って参ります。</p> <p>I. 音楽の伝来</p> <p>II. 唱歌の誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学制 ・伊澤修二の留学 ・メーソン先生との出会い</li> <li>・音楽取調掛 ・「小学唱歌集」</li> </ul> <p>III. 教育の場に来た世界の民謡</p> <p>IV. 新しい歌の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言文一致唱歌 ・滝廉太郎 ・月刊雑誌『赤い鳥』と童謡運動</li> <li>・ラジオとレコード</li> </ul> <p>V. 戦後、子どもの歌の新生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『鐘の鳴る丘』(連続放送劇) ・放送番組の変化</li> </ul>			
講師からのメッセージ			
<p>前述の通り、歌いながら講義内容を感じ取っていただきたいと考えます。</p> <p>音楽のない民族はありません。(厳密には楽器を持たない民族はいますが、歌のない民族は存在しません)</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和6年5月1(水)、8日(水)		
テーマ	(1)(2)オペラへのいざない (3)(4)オペラ鑑賞		
講師	神戸大学名誉教授 齊田 好男		
講義内容			
<p>(1)(2)オペラへのいざない</p> <p>1.オペラとは</p> <p>2.オペラの種類</p> <p>3.オペラに関わる人々</p> <p>4.オペラにおける声</p> <p>具体的に映像を観て理解を深める。</p> <p>(3)(4)オペラ鑑賞(映像による)</p> <p>「フィガロの結婚」「椿姫」「カルメン」「蝶々夫人」「魔笛」「こうもり」「ラ・ボエーム」  「こうもり」「メリーウイドウ」など著名オペラ・オペレッタより、映像によるオペラ鑑賞を行う。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>音楽の中で一番遠い存在と思われている‘オペラ’ですが、実際は最も人間生活に密接に結びついた表現なのです。歌い手さんは歌唱力とともに、優れた演技者であることが要求されます。すべての表現要素を含んだパフォーマンスが「総合芸術」と言われる由縁です。これを機会にオペラに興味をもち、楽しんでいただければ幸いです。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和6年5月27日(月)、6月24日(月)、7月17日(水)		
テーマ	日本民謡・民俗芸能(1)～(6)		
講師	神戸大学名誉教授 岩井 正浩		
講義内容			
1・2限	日本の民謡①②＝仕事歌の系譜・沖縄、アイヌ		
3限	日本の伝統芸能＝歌舞伎、狂言		
4限	板東俘虜収容所の音楽活動と「第九」初演		
講師からのメッセージ			
<p>図書館に「民俗文化の伝播と変容」をはじめとした参考図書があるので利用することを勧めます</p> <p>伝統芸能に関しては、是非劇場に出掛けて体験してください。歌舞伎、能楽、文楽、狂言など</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	総合芸術コース音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和6年 6月5日(水)		
テーマ	三曲ものについて、実技鑑賞(2)箏(含:実技)		
講 師	邦楽演奏家 折本 大人樹		
講義内容			
午前			
<p>三曲とは何かということの説明(鑑賞も含む)、理解していただき、邦楽への興味を深めていきたい。</p> <p>邦楽の代表楽器の一つである「箏」の実技の基本である構や楽器の扱い方を説明した上で実際に音を出してみる。</p> <p>箏の音色の変化等、音色が個人で違うことも感じていただけるとより理解を深めていきます。</p>			
午後			
<p>午前の続きで、箏の基本的な音型「平調子」での曲をいくつか全員で弾いていただき、後半では尺八との合奏を体験して、アンサンブルの楽しさも味わうことができる。</p> <p>最後に講師の演奏で終わります。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>邦楽器の「箏」を皆で演奏する楽しみ、個人の音色の相違など実際に演奏して体感していただきます。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	2年
講義日	令和6年6月26日(水) ~ 2学期		
テーマ	合唱実技(5)(6) 2学期(7)(8)		
講師	神戸大学名誉教授 齊田 好男		
講義内容			
<p>合唱実技(5)(6) 1年時の内容より、多少レベルの高い合唱曲を歌ってみる。</p> <p>(7)(8)では、前期までの「合唱実技」の内容を踏まえて、多様なジャンルの中から、3年時の発表を念頭に置きながら、その導入ともなるべき曲を使用し演習を行う。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>当該学年の皆さんの特徴を生かした曲を可能な範囲で選び、3年時の「合唱演習」に結び付けていこうと考えています。</p>			